

バックキングの基礎知識

バックキングの打ち込みテクニック

バックイングの打ち込み

アルペジオ、ローコードのストロークに関しては、アコギの打ち込みの知識で対応可能。

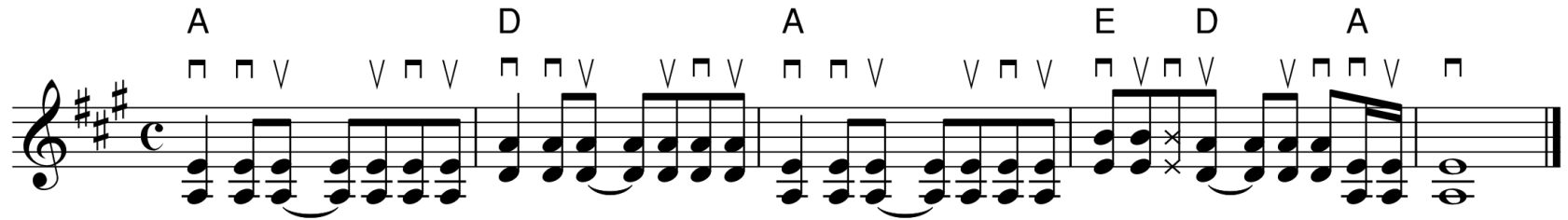
ここでは

- ロック系ストローク
- ロック系リフ
- ファンク系カッティング

を打ち込んでいこう

※「主な奏法とアーティキュレーション」の記事の知識が必要となります。

ロック系ストローク(パワーコード)



アコギの8ビートストローク同様、オルタネイトで弦をばらし、強弱も打ち込もう。

4小節目にブラッシングのアーティキュレーション。

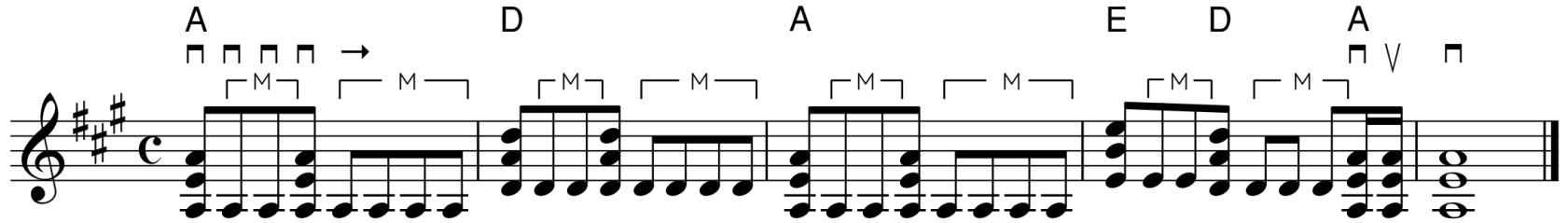
ポジションの違いを意識しよう。

- ハイポジション 太くまろやか
- ローポジション 明るく鋭い

ロック系ストローク(パワーコード)

ブラッシングでのミュートを
アーティキュレーションで入力

ブリッジミュートを使ったロック系リフ



ミュート音は音源にアーティキュレーションが用意されていればそれで打つか、ミュートでサンプルされた音色で打つ。

実際の演奏では強く弾くとルートだけでなく5度の音が鳴る事もあるので、それをシミュレート。

この音源はベロシティでサスティンが変わるので、歯切れよくするために弱目のベロシティにした。(音源の仕様による)

ブリッジミュートを使ったロック系リフ

The screenshot displays the Ample Guitar M 01 software interface. The main window shows a piano-roll style view of a guitar riff. The vertical axis represents the guitar fretboard, with strings labeled C6, C5, C4, C3, C2, C1, and B0. The horizontal axis represents time, with a grid showing measures from 20.0 to 30.0. The riff consists of several horizontal lines representing notes, with red and blue colors indicating different notes or effects. Two red boxes highlight specific sections of the riff, labeled "ブリッジミュート部分" (Bridge Mute Part). A red circle highlights a control on the left side of the interface, with a white box containing the text "キースイッチで実音/ミュートを切り替えます" (Use the key switch to switch between real sound/mute).

ブリッジミュート部分

キースイッチで
実音/ミュートを切り替えます

ファンク系カッティング

A D A E D A

3 2

実音とブラッシング音の組み合わせでリズムを作る奏法。

16分の裏は少し遅めのグリッドで。

この音源はベロシティでサスティンが変わるので、
歯切れ良くするために弱目のベロシティにした。(音源の仕様による)

ファンク系カッティング

The screenshot displays the Ample Guitar M software interface. The main window shows a guitar tablature with six strings (C7 to C0) and a waveform at the bottom. A red circle highlights a specific point on the timeline, and a callout box points to it with the text "ブラッシング音 アップ/ダウン" (Brushing sound Up/Down). The interface includes a sidebar with various settings and a top menu bar.